

日本の製薬会社（企業）はアジアや世界で勝てるのか？ —企業としての変革、人としての変革、変革のタイミング— ～マネジメント経験、自身の経験を中心に～

講師

山本 寛

サンバイオ株式会社 執行役員 事業部長（日本・アジア担当）
キノファーマ株式会社 執行役 事業開発部長
合同会社 H&L 代表取締役社長

山本氏は、同志社大学工学部機能分子工学科を卒業。エーザイ株式会社にて国内営業およびアジアにおける事業戦略・マーケティングを担当。
NUS（シンガポール国立大学）にて MBA を取得。その後、アッヴィ合同会社では脳神経領域（パーキンソン病）の新薬上市に従事。参天製薬株式会社にて、31 歳でアジア統括会社社長（15 か国）に任命されるなど、ASEAN 地域事業の立ち上げおよびマネジメント、中国事業の統括など幅広い日本・アジアにおけるビジネス経験を有する。
現在は、サンバイオ株式会社にて、これまでの幅広く豊富なビジネス経験を活かし活躍している。2019 年、自身でも起業し、日本、中国、インド、韓国などの製薬企業 10 社以上の顧問を務める傍ら、シンガポールと日本で新規化合物の探索、事業開発に注力している。企業人と起業人の二つの側面をもつユニークな人材である。



現在、世界の視線はさまざまな観点からアジアに注がれている。
私は、アジアのセンターであるシンガポールにて、製薬企業の企業人として 2 度現地に赴任し、世界のトップユニバーシティであるシンガポール国立大学で MBA を取得した。

マレーシア、インド、シンガポール（統括会社）、中国で現地法人の社長業に従事し、自身の起業会社（VC 兼製薬会社）として、事業、組織、人を評価する立場に身を置いた。これらの経験から、日本とアジアにおける人、組織、さらには事業の捉え方、発展のさせ方についての相違点を、自身の経験をもとに講演する。

当領域での考察におけるキーワードは“クロスボーダー”である。
専門領域から出身地域まで、さまざまな領域をまたいで新しい価値を創る時代にあって、今後アジアの中でどのように貢献をしていけばよいかについても述べる。

日時

2021. 8. 4 (水) 18:00～19:00

会場・定員

オンラインセミナー (Zoom 開催) ・450 名

申し込み

以下の申し込みフォームまたは、QR コードから 7 月 30 日 (金) までにお申し込みください。(開催までに参加 URL をお送りします)
<https://forms.gle/HJsdUiR6rEFYS8Tx8>

◆ 公開セミナーとして開催されますので、どなたでもご参加いただけます



未来型医療創造卓越大学院プログラム

共催：東北大学病院臨床研究推進センターバイオデザイン部門